

～ 24時間 365日人命救助・消火

活動のエキスパート～

特集

東京消防庁 福生消防署 瑞穂出張所

瑞穂出張所ができて53年。多くの町民の生命と財産を守るために、24時間、365日働いている消防署の職員や隊員の皆さんに話を伺いました。
(取材日：3月28日)



瑞穂町総合防災訓練



三連はしごを活用して上階にいる要救助者を地上へ救出する訓練



文化財消防演習



第51回
瑞穂町産業まつり

藤本 隊員 (20歳)

子供の頃から人の役に立つ仕事をしたいと思っていました。現在、レスキュー隊員になるために勉強しています。命がけの仕事になるので知識だけではなく「強い覚悟」が必要だと先輩を見て実感しています。



原田 中隊長 (63歳)

レスキュー隊にも所属し、これまで水難救助隊や山岳救助隊として危険と隣り合わせの救助活動も経験してきました。この3月で現場での活動は引退します。人命救助の時、隊員は命がけです。若い隊員には「早く助けたいと焦る気持ちを抑え、冷静な救助を心掛けること」をメッセージとして送りたいですね。



所長が教えてくれた、大切な人の命を守る豆知識

- 119番通報がつかなくとも切らずにそのままにしてください。電話を切ると順番待ちの最後尾となってしまいます。
- つながないときは042-556-0119 (瑞穂出張所) へ直接通報してください。
- 住宅用火災警報器には別の部屋で火災が発生しても親機と子機が連動して警報してくれるものもあります。
- 震災時は、消防隊がすべての現場に向かうことができません。救助してくれるのは身近にいるご家族やご近所の方です。大切な家族を守るために日頃から地域とのつながりを持ってください。



災害の通報を受報している様子 (瑞穂出張所)

出動状況は、一日に救急隊は7～8件、消防隊は2～3件です。防火服を着ての消火活動は熱中症の危険もあり、体力訓練と水分補給は欠かせません。状況によって、通報者にスマホで撮影した映像を送ってもらう時があります。

瑞穂出張所は1部隊9名で3部隊あります。部隊編成はポンプ車1台に5名乗車、待機1名、救急車1台に3名です。それと主に事務的な仕事をする常勤の職員が2名、合計29名です。

現在、119は常に緊急連絡で混み合っています。緊急通報を受けるオペレーターは生命にかかわる人を最優先で対応しているため、救急車を呼ぶか迷った場合は、救急相談センター(7119)へお問い合わせください。専門の看護師などが対応します。

瑞穂町は火災による死亡者ゼロが17000日続いています。日頃の消防活動へのご支援と協力に感謝申し上げます。小さな火種の段階で消火器を使うことで大規模火災を未然に防ぐことができます。自宅や事業所に消火器を設置しておいてほしいですね。

金尾 中隊長



辻山 所長

